

⑨ 古河関東ドマンナカ祭り(10/11・10/12)



姉妹都市の古河市で関東ドマンナカ祭りが開催され、当町の事業者の皆さんも祭りへ参加し、町の特産品を販売。真室川町を盛んにPRしてきました。

⑩ 運行開始!!乗合デマンドタクシー(10/1)



町内13地区ある公共交通空白地帯の解消のため、10月1日から乗合デマンドタクシーの運行を開始しました。

⑪ 秋の味まつり開催(10/12)



ふれあいセンター安楽城にて秋の味まつりが開催され、来場者はサンマや芋煮を楽しみ秋の味覚を堪能しました。

⑥ 第41回 東京真室川会総会開催(10/12)



東京都内にあるホテルラングウッドで東京真室川会（会長：高橋洵）総会が開催され、真室川出身の在住者約200名が参加しお互いの近況報告や、ふるさとの思い出話に花を咲かせていました。

⑦ 国道13号泉田道路起工式(9/21)



国道13号泉田道路で工事の本格実施にあたり、工事の安全・早期完成を祈念し起工式が行われました。当該区間は、東北中央自動車道の一部を構成する延長8.2キロの自動車専用道路です。

⑧ 日本一祭り2014開催(9/28)



真室川森の停車場で「日本一祭り2014」（主催：六葉会）が開催されました。祭りでは、さんまの炭火焼きや真室川の「原木なめこ」と女川の「さんま」を使ったすし身が販売されました。多くの来場者が訪れ賑わいました。

町長コラム
熊との遭遇

「今年は、ブナの実が皆無」の報道があったから、熊が里山に出没するのはないかと思っていたところ、予想通りとなっていました。目撃件数も平成23年は32件、24年は51件、25年は242件、今年は10月7日現在で74件と多くなっている。最近は隔年で増減している熊の目撃は、時期的にも半月早くそれ以後は防災放送で注意を呼び掛けている。

私は、今まで檻の中の熊は見たことがあったが、野生の熊を身近で見たことがなかった。熊は、背中を見させて逃げるのを追う習性があり、また、死肉を食す習性があることから倒れると襲われるので熊と遭遇したら、まずは動かず少しずつ後ずさりをして逃げることを言われているが、果たしてそれが出来るのかと思っていた。

9月下旬に林道を通って山に行くと、栗林の30m程の山の中腹に体長1m程の熊を見つけた。襲つてきても車で逃げられると思いい車から降りて眺めていると、熊は栗を食べていた。こちらに気づいて顔を向けたので逃げる体制をとったが、熊はゆっくりと上に登って行った。栗で満腹になり森に帰ったのか、いなくなつた。林道の先は、以前水田だったが今は草地になり人通りは少なくなっている。熊の出没を地区の人達に知らせ、熊注意の看板を設置する。

我が家の栗、柿、キウイは平年作であるので、ブナの実が皆無とは思議である。気候も影響しているのか、対応が難しくなっていると感じる。

真室川町長 井上 薫



① 絵画5作品を寄贈

10月2日(木)、矢口力さん(新庄市在住)より、町へ絵画の寄贈がありました。

矢口力さんは矢口近加良として活動されており、9月に新庄市民プラザで開かれた矢口近加良日本画展で展示された絵画のうち、土倉の滝（真室川）を含む5作品を寄贈していただきました。これらの作品は、中央公民館に展示されています。

② 会場を魅了「Look for子ども伝承フェスティバル」

「Look for子ども伝承フェスティバル」が9月21日(日)、東根市のさくらんぼタクトホールで開催され、スペシャルゲストとして八敷代番楽が出演しました。子どもたちによる客席で餅をまくユーモラスな演目「もちつき」と、大人の力強く幽玄な「武士舞」を披露し、会場を楽しませていました。

③ 第23回 町民芸術祭開催

10月5日(日)、中央公民館において、芸術文化協議会(佐藤正彌会長)主催の第23回町民芸術祭が開催されました。囃子、お謡い、詩吟、太鼓、踊りなど、10団体の会員が日頃の練習の成果を披露。各団体の熱演に会場から大きな拍手が送られました。さらに、絵画やいけばな、書道や俳句などの展示もされ、来場者を楽しませました。

④「中部フィルハーモニー交響楽団」コンサート(9/24)

愛知県小牧市に本拠地を置くオーケストラ「中部フィルハーモニー交響楽団」によるコンサートが真室川北部小学校（川瀬孝志校長）で行われました。文化庁の「文化芸術による子供の育成事業」として行われ真室川北部小の児童と真室川あさひ小の児童がオーケストラの演奏を楽しみました。演奏の鑑賞だけでなく、ボディパーカッションのセッションや、合唱など、子ども達とのコラボレーションもあり、楽しい演奏会となりました。

⑤ 死亡ゼロを目指して!!交通安全を呼びかけ

9月26日(金)、及位地区内の13号線沿いで交通安全マナーアップ県境検問が行われ、真室川町からは交通安全関係団体の方々と町のイメージキャラクターうめ子ちゃんが参加しました。県境を越えて安全運転の輪を広げ、事故のない明るい社会を築くため行われており、今年は安全運転を呼びかける広報チラシと玉コンニャク(死亡ゼロ)がドライバーへ手渡しされました。